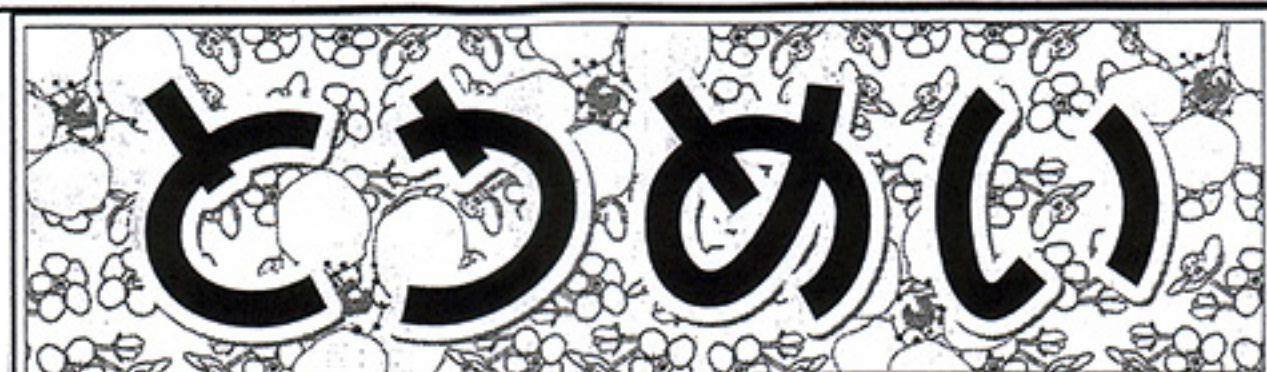


日刊 と う め い



総務大臣政務官に鈴木淳司氏起用



鈴木淳司氏

政府は6日の臨時閣議で、26人の大臣政務官を決め、愛知県内からは瀬戸市出身の鈴木淳司氏(愛知7区、自民)が総務大臣政務官に起用された。

大臣政務官の内訳は自民党が23人、公明党が3人。自民党の派閥別では町村派が最多で10人、次いで津島派が

4人だった。同日に辞令交付し、首相官邸で初の政務官会合を開いた。

鈴木氏は「これまで、政府を支える与党の議員の立場だったが、今後は政府の一員としての立場も加味され身も引き締まる思い」と話した。

増田寛也総務大臣からは、総務省の範囲全般に加え、特に経済成長をけん引するため、発展が求められる情報通信や郵政行政担当の命を受けている。

これに対し鈴木氏は、「中部をカバーするデジタルタワーも瀬戸市内に立ち、デジタル放送の推進や通信と放送の融合といった21世紀の社会基盤づくりに全力で取り組みたい」と抱負を述べた。

瀬戸市西長根町の地元事務所は「政務官に起用されたのは県内で鈴木ただ一人。今後も地域発展のために尽くすとともに、責任の重さを痛感していると思う」とコメントした。

鈴木氏は2003年に初当選し、2期目に町村派。自民党愛知県第7選挙区支部長。